

情 報 公 開 文 書

研究の名称	当院で経験した未受診妊婦への多職種連携支援の成果と産後 SRHR (Sexual and Reproductive Health and Rights) 保護に関する後方視的研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学学術研究部医学系 産科婦人科学教室 教授 中島 彰俊
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 目的：未受診妊婦とは、妊婦健診をほとんど受けないまま出産に至る人で、若年・経済的不安・支援者不在などの理由から医療面・生活面ともに大きなリスクを抱えやすい。突然の「飛び込み分娩」では短期間で支援体制を整える必要がある。今回、当院で多職種と連携して支援した経験を振り返り、産後に望まない妊娠を繰り返さないための情報提供（SRHR 支援）の重要性について考察する。 方法：2021 年 1 月～2026 年 3 月にかけて当院で飛び込み分娩に至った妊婦健診未受診妊婦の情報を、電子カルテ、分娩台帳から症例を抽出。取得する情報の項目は、年齢、合併症の有無、産科合併症の有無、分娩方法、新生児転帰、NICU 入院歴、出生体重、母児の退院先、産褥検診受診の有無、避妊方法実施の有無である。背景、医学的リスク、社会的リスク、介入内容、転帰について後方視的に研究する。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日 【研究対象者】 2021 年 1 月～2026 年 3 月にかけて当院で飛び込み分娩に至った妊婦健診未受診妊婦 【研究資金、利益相反の状況】 本研究に関係する企業等は存在しないため、本研究において申告すべき利益相反はありません。研究資金は発生しません。 【個人情報の取扱い】 情報を取得した後は、氏名、診療録 ID 等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工を行う。加工された情報はパスワードによりアクセス権限が制限されたネットワークに接続されていないパーソナルコンピュータで産科婦人科医局内において管理する。本研究では研究用識別番号と診療録 ID との対応表を作成し、パスワードによりアクセス権限が制限されたパーソナルコンピュータで産科婦人科医局内において加工済みのデータとは別に保管する。本研究に関する情報等は研究成果の最終公表後から 10 年間保管し、紙媒体の裁断または電子ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄する。

	【研究結果の公表の方法】 日本女性医学学会誌への投稿 【試料・情報の他機関への提供有無】 無 【外国にある者への提供について】 該当なし
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 年齢、合併症の有無、産科合併症の有無、分娩方法、新生児転帰、NICU 入院歴、出生体重、母児の退院先、産褥検診受診の有無、避妊方法実施の有無
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 実施許可日以降
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	電子カルテ、台帳から症例を抽出。
⑥利用する者の範囲	富山大学学術研究部医学系産科婦人科学 中島 彰俊
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院長 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076 - 434 - 7357 FAX：076 - 434 - 5036 E-mail：obgyn@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：産婦人科 荒木 左諭